

令和 2 年度

(2020 年 4 月～2021 年 3 月)

尼崎理容美容専門学校

自己評価表

学校法人阪神専修学園

尼崎理容美容専門学校

令和 3 年 6 月 9 日

## 令和2年度自己評価

### 1 学校の教育理念、教育目標

本校は、建学の精神「克己」「努力」「奉仕」を教育理念とし、教育基本法、学校教育法ならびに理容師法および美容師法にもとづき、理容・美容等に関する知識と技能を習得せしめ併せて人格の徳性を育て、もって優秀なる理容師・美容師を養成することを目的とする。

建学の精神を基に、自ら考えて行動することのできる、社会に貢献できるような「人財」の育成に取り組んでいる。

### 2 本年度の目標、計画

「選ばれる学校」を掲げ、個性に合わせた学び方を提供しつつ、理容、美容への好奇心、興味、好きになってもらいながら、折れない心や志を持った学生を育てていく。具体的には本年度からタブレットを用いた授業形態の構築を踏まえつつ、学生に対して学びやすい環境を提供していく。また、積極的な学生個々の学びたいという気持ちを叶えられるように各種奨学金や補助金なども活用しながら、学費の軽減や学生の状況に合わせた納入計画を提案する。

加えて卒業後も継続して卒業生のサポートができるような体制を整え、サロンと卒業生がより良い環境で長く勤務できるようなマッチングを意識して就職先を斡旋する。

これらを実践するために、学生ひとりひとりを教職員全体で指導する意識を持ち、常に互いのフォローができるような環境作りを心がける。

なお、新型コロナウイルス感染症については感染拡大防止への対策、配慮を行いながら、学生が安心して学べるよう教育環境などに最善の配慮を図っていく。

### 3 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標		評価値
評価項目		適切:5、ほぼ適切:4、どちらともいえない:3、やや不適切:2、不適切:1
1	学校の理念・目的・育成人物像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4.7
2	学校における職業教育の特色は何かを把握しているか	4.5
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4.7
4	学校の理念・目的・育成人物像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4.0
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4.1

#### ①課題

理念等については定められているが、周知や業界のニーズに向けた方向づけについては弱い部分がある

#### ②今後の改善方策

ひとりひとりが学校の将来、学生の将来に向けて努力すべき。

## (2) 学校運営

(2) 学校運営		評価値
評価項目		適切:5、ほぼ適切:4、 どちらともいえない:3、 やや不適切:2、不適切:1
1	目的等にそった運営方針が策定されているか	4.2
2	運営方針にそった事業計画が策定されているか	4.1
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか有効に機能しているか	3.8
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4.8
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4.7
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4.1
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.2
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.6

## ①課題

タブレット端末導入に伴い、さらに業務・教育・情報伝達の効率化を図っていく必要がある

## ②今後の改善方策

情報システム化をうまく生かし、少人数で効率的に仕事をしていく

## (3) 教育活動

(3) 教育活動		評価値
評価項目		適切:5、ほぼ適切:4、 どちらともいえない:3、 やや不適切:2、不適切:1
1	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4.5
2	教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4.2
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4.3
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4.0
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.5
6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技、実習等)が体系的に位置づけられているか	3.9
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4.6
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4.0
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4.6
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4.5
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4.0
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4.0
13	関連分野における先端的な知識・技能等を取得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3.9
14	職員的能力開発のための研修等が行われているか	3.9

## ①課題

教員の指導力育成など資質向上のための取組

## ②今後の改善方策

学校としてどのような職員を求めているのかを明確にし、学校としてもっと研修などを行うべき。

(4)学修成果		評価値
評価項目		適切:5、ほぼ適切:4、 どちらともいえない:3、 やや不適切:2、不適切:1
1	就職率の向上が図られているか	4.8
2	資格取得率の向上が図られているか	4.5
3	退学率の低減が図られているか	4.8
4	卒業生・在校生の社会的な活躍および評価を把握しているか	4.1
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3.9

①課題

卒業後のキャリア形成への効果を把握できているか不透明

②今後の改善方策

卒業した後の状況把握に努め、在校中にすべき教育内容の見直し等に生かす

(5)学生支援		評価値
評価項目		適切:5、ほぼ適切:4、 どちらともいえない:3、 やや不適切:2、不適切:1
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4.9
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4.8
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4.8
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4.0
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4.0
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4.3
7	保護者と適切に連携しているか	4.6
8	卒業生への支援体制はあるか	4.0
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4.5
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4.2

①課題

パートビュートイーを希望する学生が多い中、そういったサロン、企業への就職支援体制がまだ少ない。

②今後の改善方策

広報、教務が軸となり、キャリア教育をもっと広めていくため、行政とも連携すべき

(6)教育環境		評価値
評価項目		適切:5、ほぼ適切:4、 どちらともいえない:3、 やや不適切:2、不適切:1
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4.8
2	学校内の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4.0
3	防災に対する体制は整備されているか	4.6

①課題

2の海外研修については、現地でしか学べないような技術や体験が望ましい

②今後の改善方策

設備については備品などが古くなってきていることから計画的に新しいものへ変えていく

(7)学生の受け入れ募集		評価値
評価項目		適切:5、ほぼ適切:4、 どちらともいえない:3、 やや不適切:2、不適切:1
1	学生募集活動は、適切に行われているか	4.0
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4.3
3	学納金は妥当なものとなっているか	4.8

①課題

SNSの活用

②今後の改善方策

オンラインでガイダンスを行ったり、カリキュラム、学校映像を動画で配信できる環境を整えていく

(8)財務		評価値
評価項目		適切:5、ほぼ適切:4、 どちらともいえない:3、 やや不適切:2、不適切:1
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4.0
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4.6
3	財務について会計監査が適切に行われているか	4.9
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4.1

①課題

財務基盤の安定については、中長期的に見てもまだまだ課題がある

②今後の改善方策

適正な財務基盤を作り上げていく

(9)法令等の遵守		評価値
評価項目		適切:5、ほぼ適切:4、 どちらともいえない:3、 やや不適切:2、不適切:1
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適切な運営がなされているか	4.7
2	個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	4.8

①課題

なし

②今後の改善方策

なし

(10)社会貢献・地域貢献		評価値
評価項目		適切:5、ほぼ適切:4、 どちらともいえない:3、 やや不適切:2、不適切:1
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	<b>4.3</b>
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	<b>4.0</b>
3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	<b>3.8</b>

①課題

資格の講座など、対策授業を実施しているが広く周知されていないのか、受講が少ない

②今後の改善方策

行政と連携するだけでなく、ボランティア団体なども手を取り合う

#### 4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

年間の事業計画や自己評価項目については概ね適切ではあるが、数値としては新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた感もある。次年度については今年度の反省点も踏まえつつ、将来のための職業教育、資格取得に向けての学習をコロナ禍においても行っていく体制づくりを進めながら、より良い学びを提供できるよう教職員一丸となって努めていく。